

2013年3月期～2015年3月期

# 新中期経営計画



**Smart  
Solutions**

太陽誘電グリーンプロダクツ

**TAIYO YUDEN**

2012年5月15日

太陽誘電株式会社

2012年3月期業績  
前中期計画総括  
および  
体質改善策について

(単位:百万円)	2012年3月期 (2011.4.1~2012.3.31) 通期予想 [2011.12.26発表]	2012年3月期 (2011.4.1~2012.3.31) 通期実績	増減額	増減率
売上高	189,000	183,795	△5,205	△2.8%
営業利益	△7,000	△8,010	△1,010	---
経常利益	△10,000	△9,070	930	---
当期純利益	△19,200	△21,599	△2,399	---

売上高：スマートフォンは堅調だったが、テレビ、パソコン、液晶パネルの需要低迷により減収

当期純利益：215億円の損失の主な要因は次のとおり

- ・事業構造改善費用 42億円 ... 希望退職者募集に伴う退職特別加算金など
- ・法人税等調整額 58億円 ... 繰延税金資産の取り崩しなど

2012年3月期

前中期計画

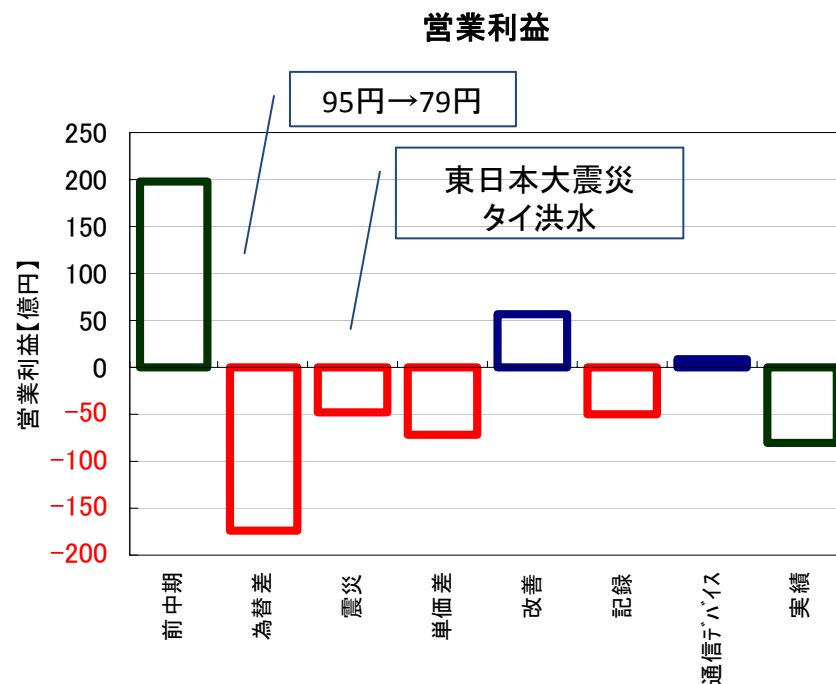
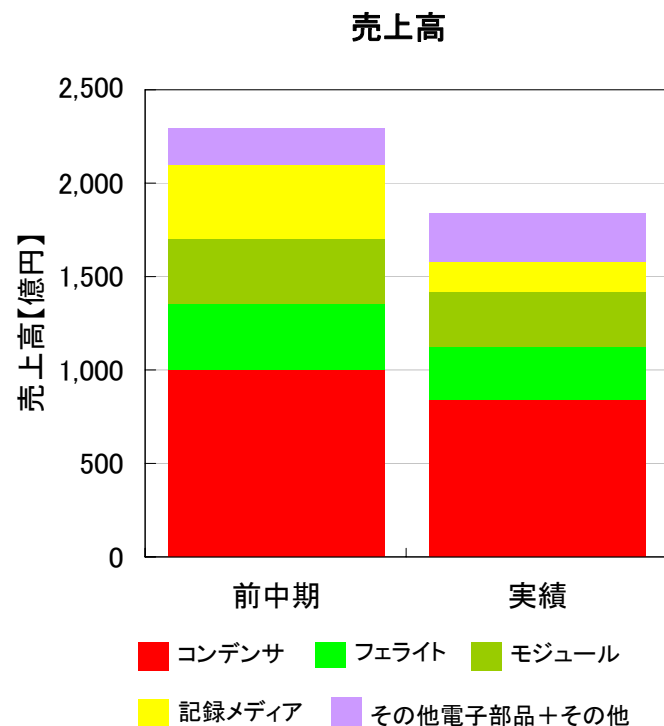
売上高2,300億円

営業利益200億円

実績

売上高1,837億円

営業利益▲80億円



マイナス要因: 円高進行影響、震災影響、単価影響、記録メディアの減少、  
 プラス要因: 通信デバイス増加

固定費削減: 100億円／年

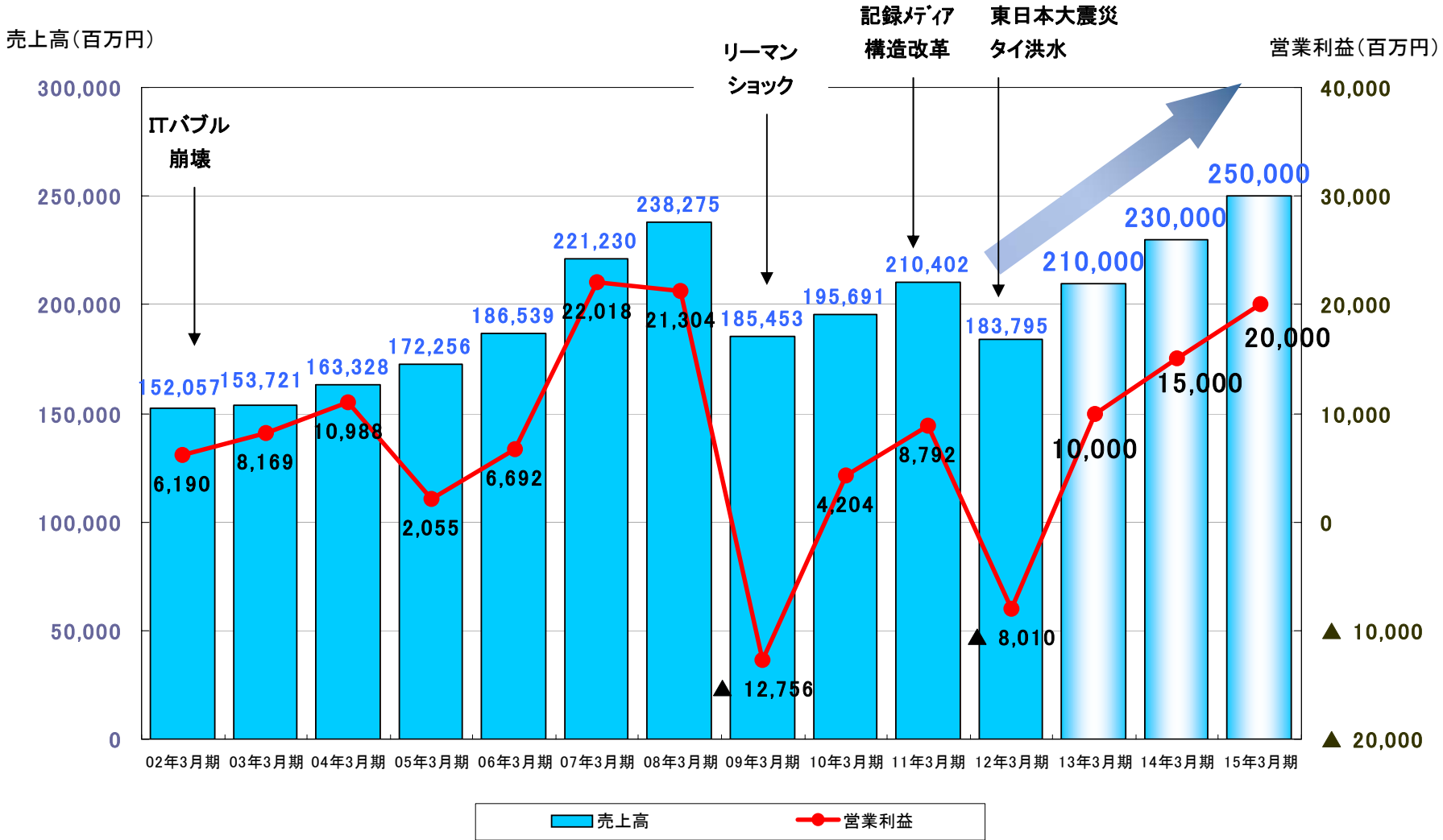
体質改善策 (2011年11月10日発表)	進捗状況
<b>構造改革の実施</b> ・海外拠点最大活用 (海外生産比率 53% → 70%) ・不採算商品の撤退 ・国内外の拠点再編並びに 人員削減	・2013年3月期上期よりコンデンサ、インダクタの海外生産 移管本格化 ・2013年3月期末までに不採算商品ゼロ化(計画立案済み) ・太陽誘電単体および国内外グループ子会社で人員削減実施
<b>設備投資の抑制</b> (来期150億円見込み)	・2013年3月期設備投資金額185億円(2012年3月期比▲82億円) ・中期経営計画期間中の設備投資金額は減価償却費以内に抑制
<b>その他経費・販管費の削減</b>	・2013年3月期に▲18億円見込(2012年3月期比) ・購買、物流改革に向けた組織改編実施
<b>為替感応度の低減</b> (40%低減)	・業績予想立案時点で27%低減

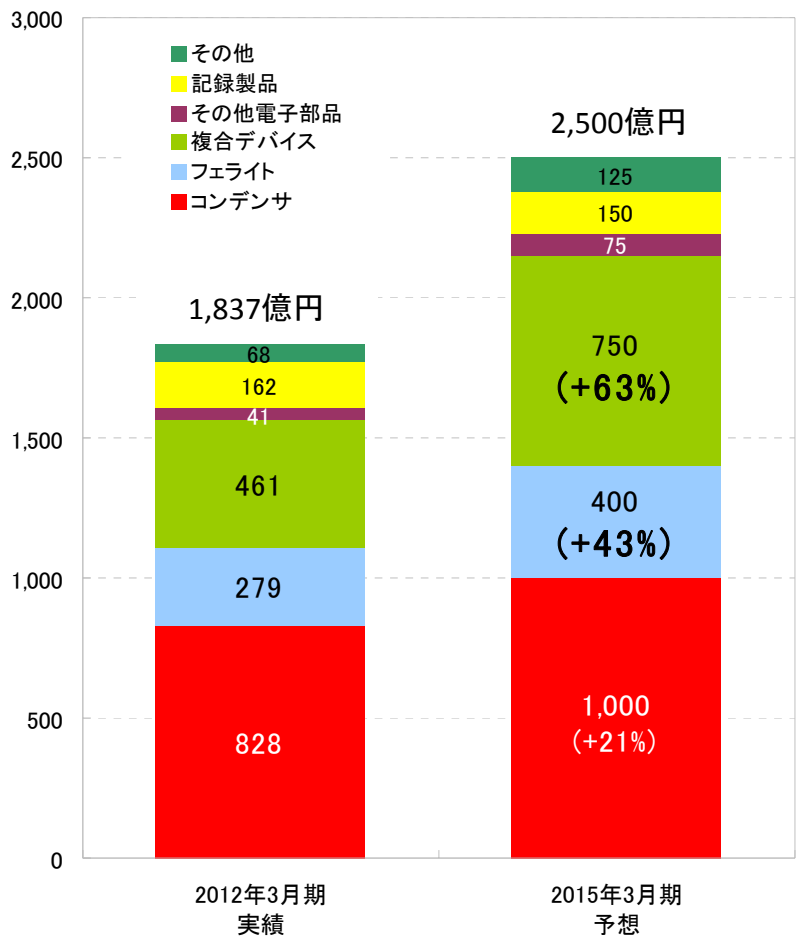
**構造改革は計画通りに進捗中**

# 新中期経営計画

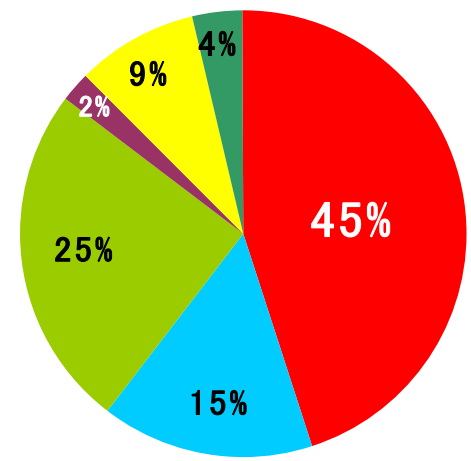
2013年3月期～2015年3月期

**経営ターゲット**  
 2015年3月期 売上2,500億円 営業利益200億円 ROE8%  
 2016年3月期 ネットキャッシュプラス(財務指標改善のため、各期CFプラスの設計)

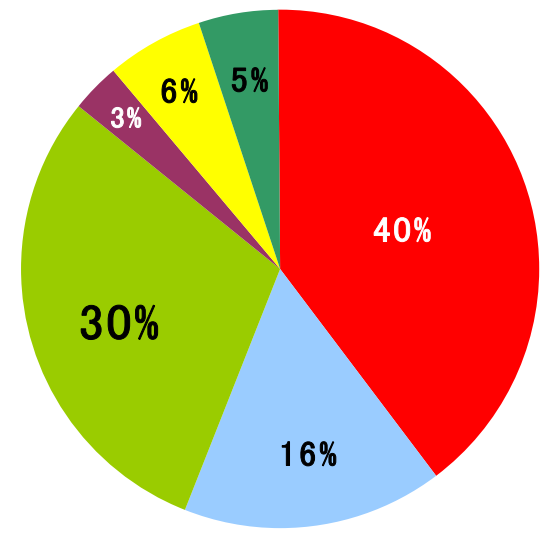




構成比



2012年3月期 実績

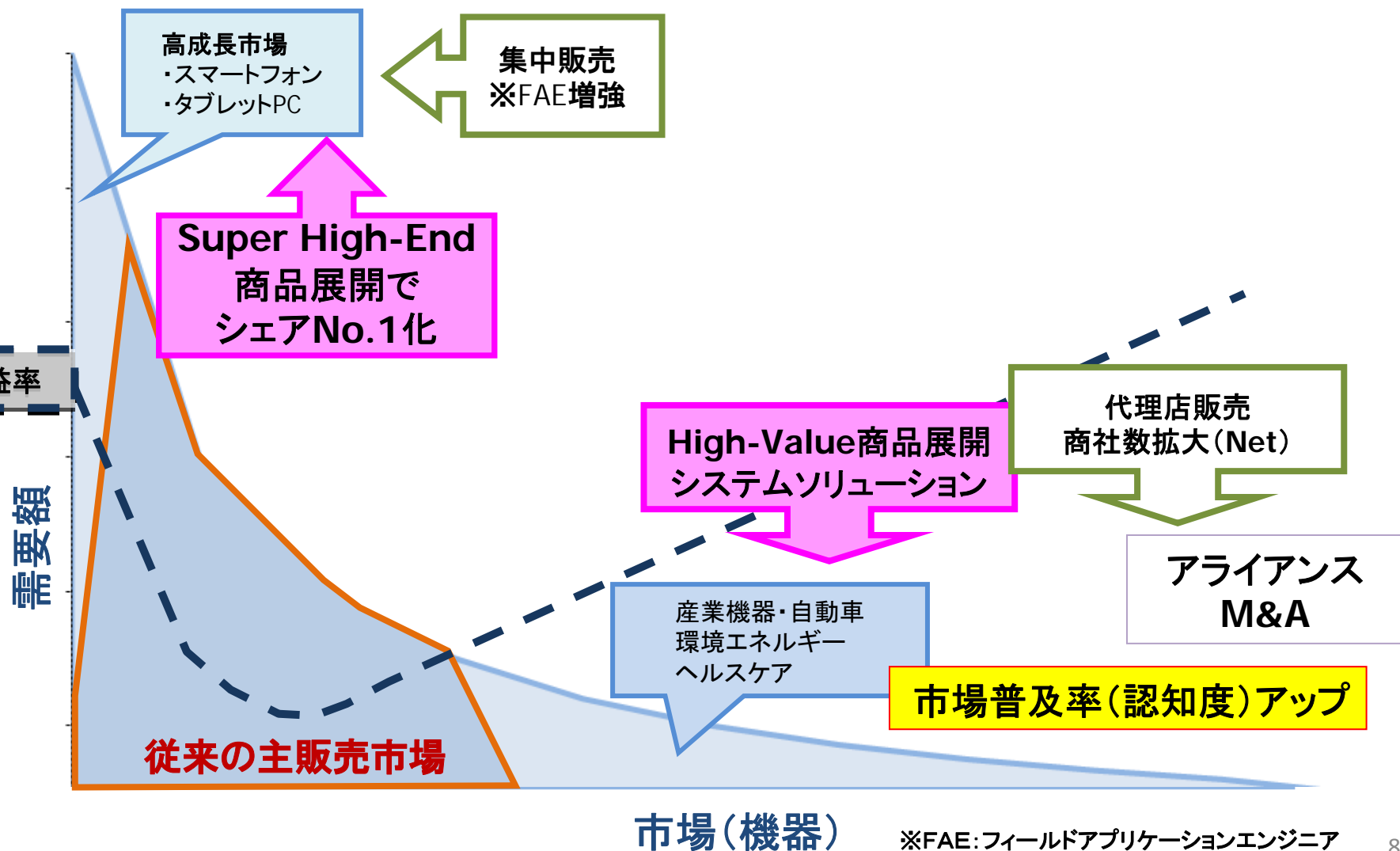


2015年3月期 予想

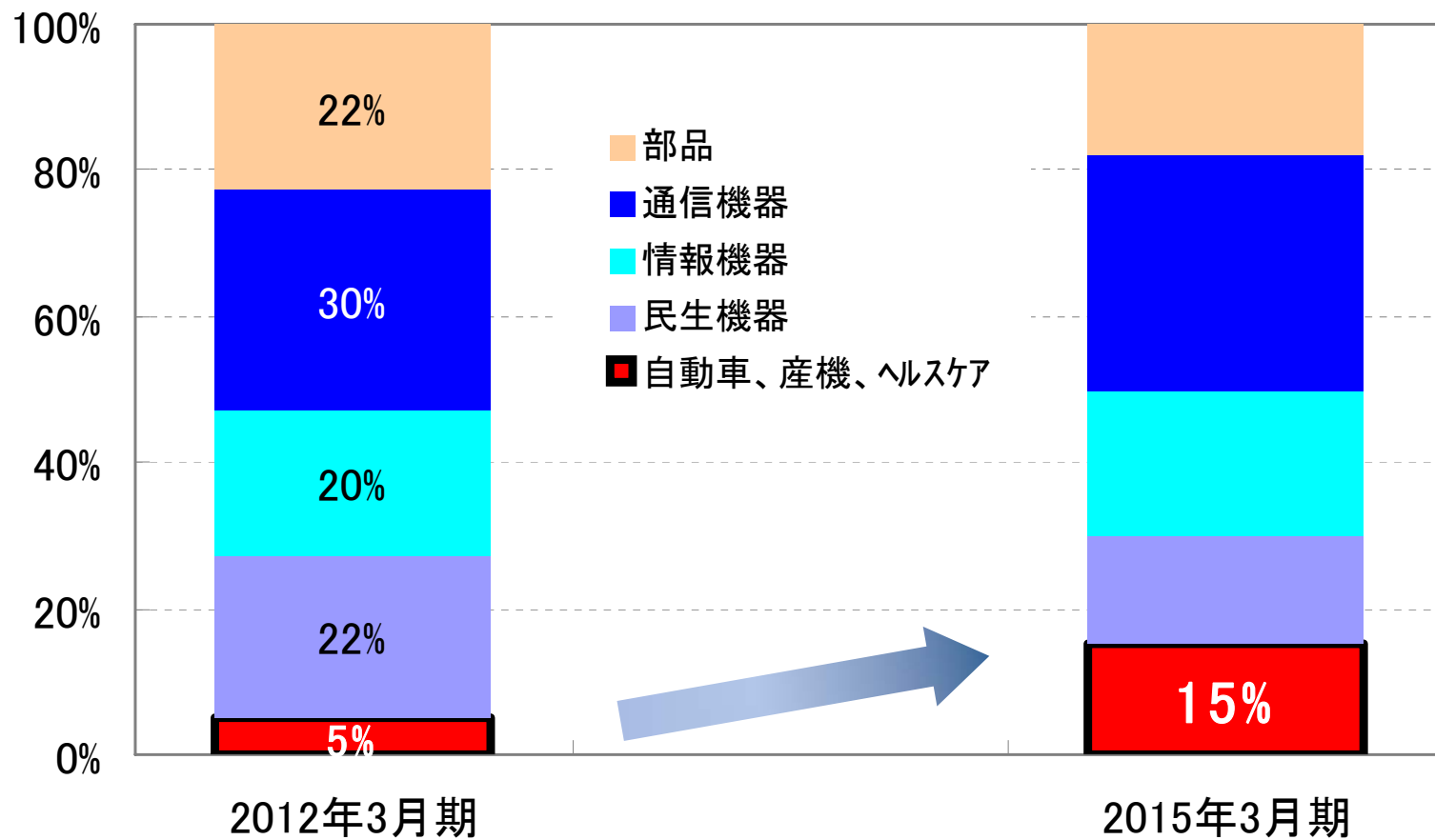
バランスの取れた事業構造へ変革

収益拡大に向け

☆Super High-End Line Up投入 ☆システムソリューション ☆販売チャンネル拡大



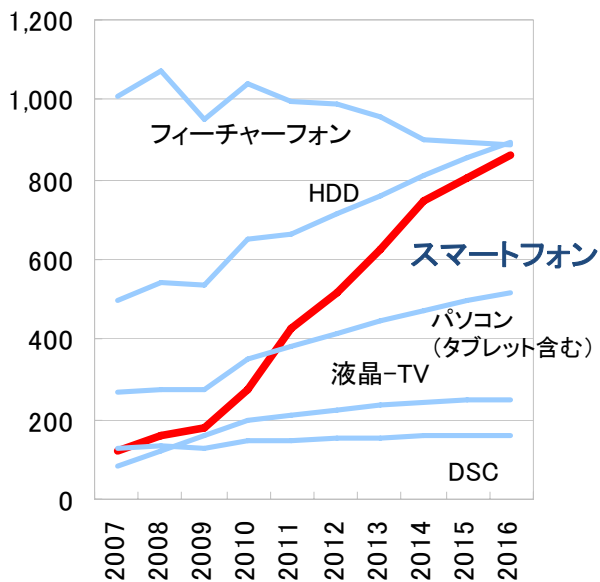
※FAE:フィールドアプリケーションエンジニア



既存市場依存から脱却。新規市場を伸ばす

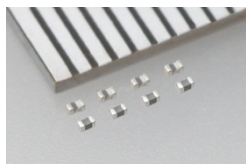
## 成長するスマートフォン市場向けにスーパーハイエンド商品展開 主要顧客に採用拡大・増産体制構築

生産台数(百万台)  
弊社想定



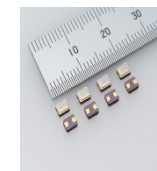
### 高周波積層チップインダクタ 積層チップビーズ

0402サイズへのラインナップ拡充



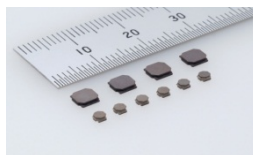
### 角型ポリアセンキャパシタ

リアルタイムクロック  
バックアップ用途を強化



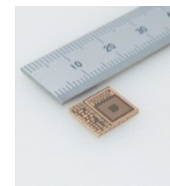
### 小型大電流パワーインダクタ

メタル系新材料使用  
「MCOIL®」商品化



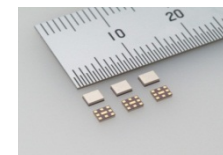
### 部品内蔵配線板 EOMIN®

FEMへの展開



### SAWフィルタ デュプレクサ FEM

需要拡大に応じた生産能力拡大

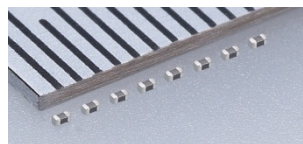


員数	3Gフィーチャー	スマートフォン
MLCC	300~400	400~600
パワーL	8~10	15~20
SAW・Dup	4~6	6~8
高周波L	20~40	40~60
ビーズ	15~25	30~40
kit@指数	1とした場合	1.5倍以上

弊社算出

### 積層セラミックコンデンサ

スーパーハイエンド商品の拡大



## ◇注力すべき市場

- 自動車・産業機器・ヘルスケア市場における販売拡大
- 環境・エネルギー市場への参入
  - ・エネルギーデバイス分野の強化
  - ・エネルギーマネジメント技術を中心としたソリューションビジネス
  - ・高信頼性商品ラインアップ拡充化  
(電子部品・アーカイブ用メディア)



◇新事業創出に向けた体制構築  
新事業推進統括部 創設

◇アライアンス・M&Aの積極展開  
脱自前主義による事業領域拡大とスピードアップ

高信頼性メディア  
(ISOメディア)



- ◇スーパーハイエンドゾーンで高シェアを堅持
- ◇高品質市場(自動車・産業機器・ヘルスケア市場)へ拡大
- ◇海外拠点最大活用による高効率生産

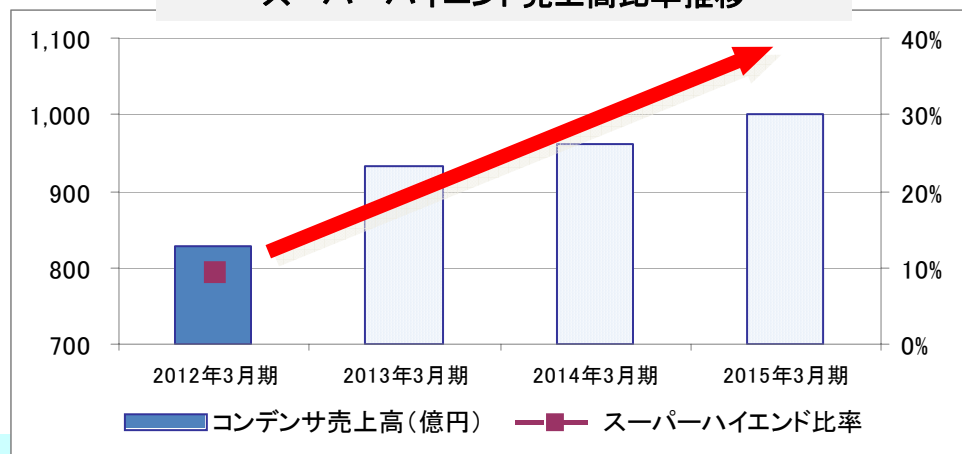
コンデンサ  
営業利益率10%以上へ

W/W拠点 アイテム展開



~1000	Super High-End						
~100	High-End		Super High-End				
~10			High-End		Super High-End		
~1uF					High-End	Super High-End	
形状	3225	3216	2012	1608	1005	0603	0402

スーパーハイエンド売上高比率推移



スーパーハイエンドゾーンでシェア50%以上 No. 1へ

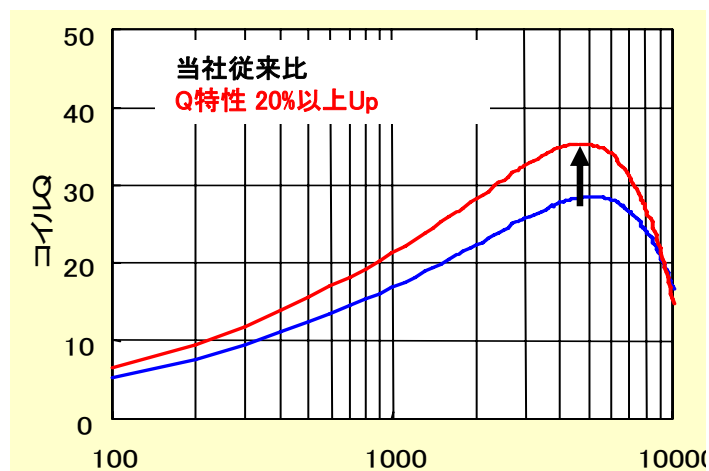
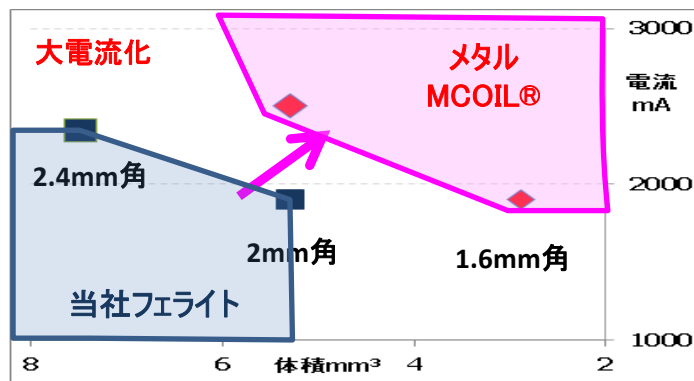
- ◇新商品ラインナップ強化による収益性強化
- ◇ICリファレンスを強化、ニーズにマッチした新商品開発

フェライト及び応用製品  
営業利益率10%以上へ

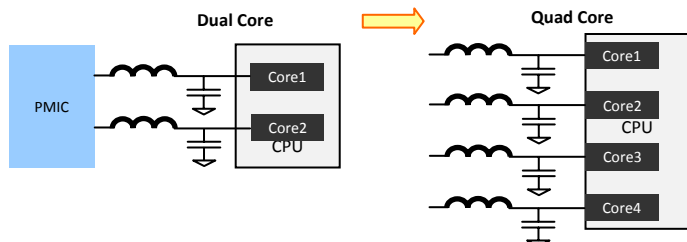
新世代を担う新材料のメタル系ハイパワー  
Super High-Endインダクタを市場投入

高周波用 小型・High-Q実現した  
Super High-Endインダクタを市場投入

員数増加・大電流化⇒小型メタルニーズ拡大



コア電源用需要数 2倍



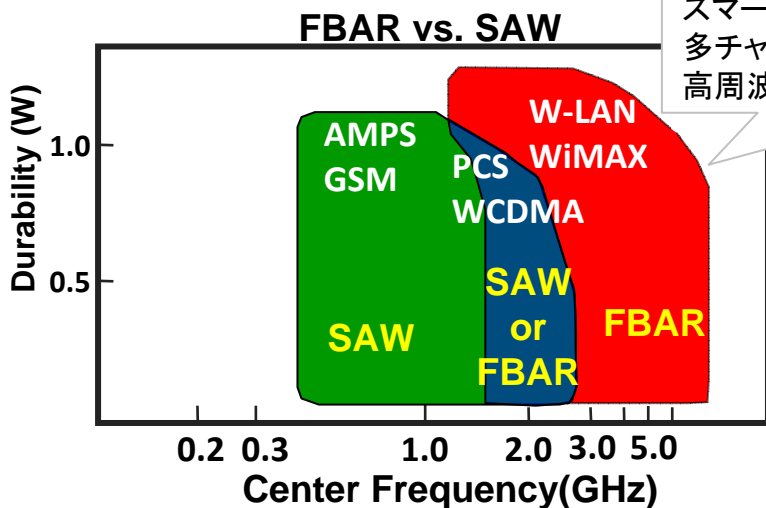
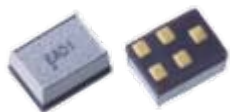
パワーインダクタ売上高2倍を目指す(12年3月期⇒15年3月期)  
スマートフォン用メタル系インダクタでシェア50%超No.1へ  
High-Q高周波インダクタでシェアNo.1へ

◇モジュールから複合デバイスへ事業構造を変革

◇高周波事業、電源・エネルギー事業等で事業ステータスを向上

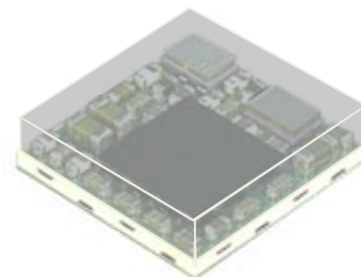
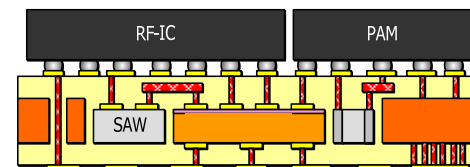
**複合デバイス  
営業利益率5%以上へ**

SAW Filter  
FBAR  
Duplexer  
RF Module



スマートフォンのLTE化により、  
多チャンネル高周波化が進む。  
高周波数帯ではFBARが必要になる。

Parts Built-in Substrates  
“EOMIN”



Low Profile MLCC  
High-Q HF inductor



・通信デバイスと部品内蔵配線板「EOMIN®」との融合でBlack Box化

**通信デバイスの売上高は倍増へ(12年3月期⇒15年3月期)**

(単位:百万円)	2012年3月期 (2011.4.1~2012.3.31) 通期実績	2013年3月期 (2012.4.1~2013.3.31) 通期予想	増減額	増減率
売上高	183,795	210,000	26,205	14.3%
営業利益	△8,010	10,000	18,010	---
経常利益	△9,070	9,000	18,070	---
当期純利益	△21,599	5,500	27,099	---

営業利益: 固定費削減とスーパーハイエンド商品の需要拡大による売上増で、大幅な増益へ

為替レート: 期中平均為替レートは1米ドル80円を想定

単価ダウン: 単品部品の想定は△12%

◇基本方針 年10円の安定配当

(2012年3月期は財務体質の急激な悪化を受けて年5円へ減配)

2013年3月期は収益改善を見込み年10円の安定配当に  
中期経営目標達成時には総還元性向30%に(配当+自社株買い)

当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。また、無断転載・転用はお断りいたします。